

平成30年 **1**月の**思いやり**通信



エコライフ - 寒さのアレルギーに対する影響

- ・アトピー性皮膚炎の場合、断熱性能が良くなると室温が保たれて身に着ける衣類が少なくなるために改善が促されると考えられます。
 - ・咳やのどの痛み、冷え症などについては、断熱性能が高くなると部屋が暖かく保たれるので改善されると思われます。
 - ・人の皮膚が衣類から受けるストレスは思った以上に大きく、肌への刺激が強い化学繊維やウール、ゴムを使った衣類をたくさん身に着けるほど、アトピー性皮膚炎になる可能性は高まるそうです。
 - ・家の中で着る服を少なくするには、室温を快適な温度に保つことが重要です。
 - ・高断熱高気密の家について健康にプラスとなる要因は、カビの発生を抑えることです。
 - ・化学物質はカビや細菌などの微生物によっても放出されていて、放出された化合物がアレルギーなどの原因となって健康を害する場合があります。
 - ・そうした物質は湿気の多い建物を好み、特に結露がしやすい所などに生息しているのが特徴です。古い建物に入ったときにかび臭いと感じるのはそのためです。
 - ・断熱をしっかりと行い、室内の温度差をなくし、同時に換気もきちんと行えば、そうした有害なカビの発生を防ぐことができます。
- (高垣吾朗氏著「夢を叶える家づくり」より引用・抜粋)



電力自由化 送配電は大手独占続く

- ・電力自由化は、大手電力会社が地域独占していた電力制度を見直し、新規参入者などが自由に発電したり電力を売ったりするようにすることです。
- ・政府は発電事業への参入は1995年に認めました。小売り事業は2000年から工場など大規模な需要家への販売を対象に解禁。2016年4月には家庭向けの販売にも広がり全面自由化しました。発電事業には約600社・団体、小売り事業には約450社・団体が参入。一方、送配電事業は電力大手の独占が今後も続きます。

(2017年12月22日 日本経済新聞記事から抜粋引用)

“たろうの店きごころ”

山忠木材株式会社

大阪市大正区千島3-18-9 TEL 06-6552-0781